

2019

6

June Vol.39

JAしまねびより

今月の特集 島根のいいもの再発見!! 「安来市 みょうが」 やすぎ地区本部



Naonichi
鷹入の滝 (安来市伯太町)
直禪



JALしまね やすぎ地区本部版



島根には誇れる農産品がたっくさん!

島根のいいもの

再発見!!

直撃・生産者インタビュー

安来市 みょうが

6月は、やすぎ地区本部。安来市九重町で、みょうがの生産に取り組む湯浅克美さんにお話を伺ってきました。



大きなハウスの中には「みょうが」がびっしりと。きれいに整備され、管理が行き届いていることがすぐ分かりました。

シャツ・ネクタイで作業していた父の後を継ぎ
湯浅さんはみょうが作りをはじめて8年。当初は定年退職した父親が何か新しいことをしようと全国各地を視察し、平成19年に高設栽培を用いたみょうが作りをはじめました。



お話を伺った湯浅さん



みょうがってこうやってできるの?? 初めて見る光景に驚き連発。

みょうがってこうやってできるの?? 初めて見る光景に驚き連発。

みょうがは地下に地下茎を伸ばす植物。私達が食べている部分は開花前の蕾(つぼみ)がいくつか入っている花穂の部分で、培地の根元からいくつものみょうがが顔を出します。連結した高さのある湯浅さんのハウスには長さ約45mの栽培ベッドが14列並び、厚さ6cm以上の培地にはぎつりとみょうがが植えられています。定植するためには、まず地下茎を植えて芽出しを行



みょうがは地下に地下茎を伸ばす植物。私達が食べている部分は開花前の蕾(つぼみ)がいくつか入っている花穂の部分で、培地の根元からいくつものみょうがが顔を出します。連結した高さのある湯浅さんのハウスには長さ約45mの栽培ベッドが14列並び、厚さ6cm以上の培地にはぎつりとみょうがが植えられています。定植するためには、まず地下茎を植えて芽出しを行

した。ハウスの床には防草シートを施工し、栽培や収穫作業であまり汚れることができないため、父親は時にシャツ・ネクタイ姿で作業することも。湯浅さんはその後を受け継いで家族でみょうが作りに汗を流しています。

ハウスでの高設栽培は 県内唯一

い、芽が出たものを採取して培地に最終的に植えていきます。培地はココナッツを破碎して作ったヤシ殻が中心で、そこに水を供給している管が通っています。1日に必要な養液を水の中に注入。約半年かけて葉を成長させるとみょうがが取れるようになります。その後4、5ヶ月かけて収穫していきます。10cm以上に育ったみょうがをハサミで切り取り汚れを取り除いた後、3コ入り約50gをパック詰めにしていきます。湯浅さんは1年1作で4月から秋ごろまで収穫し、近隣の市場に出荷、年間3t余り生産しています。

所などで販売する人はいます
が、高設栽培を用いて一定量
を生産するのは山陰では湯浅
さんだけです。

朝5時から夜9時まで

お盆前後の最盛期には朝5時から収穫をはじめ、パック詰めが終わるのが夜9時を過ぎます。また、露地に比べて倍以上に伸びていく葉は最終的に3mを超えます。収穫が終わるとそれを全部切り取つて処分しなければならないのが重労働。それでも、地元の市場では島根県産のみょうがが引き合いが強いため、繁忙期には休む暇なく長時間の作業が続きます。そして、湯浅さんは品質の高いみょうががわりがあります。みょうがが出てくる培地は遮光シートで覆い艶やかな紅色になるよう



葉がうっそうと茂る様子は、小振りで品のある姿という印象の「みょうが」と大きなギャップが。



シートを捲って見せていただくと、無数のみょうがが、見事に。日照や温度管理、様々なノウハウの積み重ねの結果。

なると花芽ができる長日植物で、1日3時間、電照を当てたなど、高設栽培は大きく育ち収量が多い反面、その分コストが掛かります。品質と収量の向上のための努力を行っていても予想が外れ、収穫時期が遅くなるなど試行錯誤の連続。他産地と気候条件が異なる山陰地方では、栽培方法が確立していない上に、周辺で高設栽培を行っている人がいないため、問題が起きた同士に相談することができず、孤独な戦いが続くことがあります。

千切りにしてサラダとして食べるなど、アレンジすれば無数の食べ方ができる野菜です。とくに湯浅さんの栽培方法で育つみょうがは柔らかくエグ味も少ないので食べやすいのが特徴です。みょうがを切つてみると水々しさを証明するように切り口から水分が滴ります。

エグ味が少なく食べやすい

シャキシャキとした食感と爽やかな苦味が特徴のみょうが。香辛野菜として、そうめんや豆腐の味として食べる機会が多いと思いますが、そのほかにもたくさんの食べ方があります。天ぷらや味噌汁の具として食べても美味しいほか、ベーコン巻きや漬物、



収穫したてのみょうがを切つていただくと、水分が溢れ、その新鮮さとシャキシャキ感を想起させられました。

島根県産はこだわりの証 色・ツヤ・形良し。

湯浅さんはなるべく色形の良いものを出荷することを大前提にしています。今後は品質を維持した上で収量をいかに増やすかを課題にしています。葉の光合成を促すために、葉と葉の間の空間をいかに確保するか、地下茎をどのように広げれば収量が増えるかな

ど、山陰地方を中心に引き合の強い地元産のみょうがを安定して供給できるよう試行錯誤が続きます。



山陰唯一のプライドを持って、今後も良いみょうがを提供できるよう努力を惜しまない、と湯浅さん。

やすぎ地区本部 なかうみ菜彩館



産直へようこそ!!

旬の農産物や地域の特産品に出会える、
島根県内の産直店舗をご紹介します。



この日も「美しい農産物」が生産者の皆さんによって陳列された

国道9号線沿いの道の駅「あらエッサ」内にある直売所「なかうみ菜彩館」は、県外の観光客からレストランの料理人まで訪れる人気の直売所だ。

同直売所に並ぶ野菜などは、その品質もさることながら陳列されている姿が美しいと評判だ。根菜や葉物野菜なども袋に入れ、切り口から液が出るものは袋口を折り返す。袋詰め時には汚れ、水気を落として大きさを揃えることを徹底する。稲田佳代店長は「見え栄えがよくなるのはもちろん、傷みが減り鮮度の維持にもなる。包装のひと手間を加えることで、ご利用者様により商品価値の高いものを提供できる」と商品価値の高さをアピールしている。

「四季を感じることができるのが産直の魅力」と話す稲田店長の言葉通り、同直売所では季節ごとにイベントが開催される。イチゴ祭り、タケノコ祭り、彼岸の花市や、春の感謝祭、秋の収穫祭など様々なイベントが来店客を楽しませる。地域の特産品や「食」と密接に関わっている伝統文化を若い世代が知るきっかけになればと、生産者グループとともにイベントに工夫を凝らす。今ではお客様から開催日の問い合わせを受けるなど、多くの方に親しまれている。

6月は、地元生産者手作りで出来立ての「笹巻き」が店頭に並ぶほか、地元の園児たちが作ったててるてる坊主が梅雨時期の店内を盛り上げる。訪れる度に新しい発見がある。「なかうみ菜彩館」は四季を楽しめる直売所だ。



6月は園児たちのてるてる坊主がお出迎え(写真は昨年のもの)



ここで一句
「店先の 豊富な野菜で 旬を知る」
稻田店長

店名：なかうみ菜彩館
所在地：島根県安来市中海町118-1
道の駅あらエッサ内
TEL: 0854-23-7310
営業時間：9:00~18:00
定休日：年末年始



イベントには多くの人が訪れる
(写真は4月に行われたタケノコ祭り)

た同ハンドブックは、生産者が出荷する際の指標となっている。またハンドブックに加え、直売所スタッフのこれまでの経験からくるご利用者様が手に取りやすい商品、喜んでもらえる商品に向けたアドバイスが美しい商品を支えている。



J Aしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



J Aしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「J Aしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

星野和志さんは平成29年に就農し、現在、ぶどう31アール、野菜10アールを栽培しています。星野さんの栽培するぶどうは市場出荷と、それ以外は「星のぶどう」と銘打って、雲南市ふるさと納税の返礼品にも使用されている他、地元産直市で販売をしていて、多く消費者から好評を得ています。

消費者との関わりを大切にしていて、ゴールデンウィークには多くの親子や家族連れが圃場を訪れ、シャインマスカットの房となる、穂の先端3センチの蕾を残してそれ以外の蕾を切り落とすという作業を体験され、夏には収穫作業も一緒に行なっています。

星野さんは、J Aしまね農業振興支援事業を活用してパイプハウスを設置しました。「JAに支援してもらい、ぶどう以外の野菜を栽培し、経営の多角化ができました」と話されました。「後継者がいない農家に代わって農地を引き継いだり、いろいろな方との仲間づくりをしていきたいです」と話され、雲南地域の美味しいぶどうや野菜を消費者に届ける若手農家のリーダーとして、期待されています。

雲南市 星野 和志さん



一所懸命 青年連盟

地域に元気を発信します
J Aしまね西いわみ青年連盟

J Aしまね西いわみ青年連盟は県西端にある益田市、津和野町の青年農業者68名で構成する組織です。

益田支部、匹見支部、津和野支部の3支部があり、それぞれ地域と一体となった活動を行なっています。

益田支部は、商工会議所青年部主催の「まだ産業祭」に毎年出店し、消費者に新鮮な農産物をPRします。

匹見支部は「匹見峠春祭り」で地元牧場産牛肉の丸焼きを提供し、来場者に味の良さをPRします。

津和野支部は、日本五大稻荷と称される太鼓谷稻成神社の祭事に合わせた餅つきで参拝者らを魅了します。

近年は県外からのU・Iターンによる新規就農者も増え、活気づいています。

今後も、地域に元気を届ける活動を行なっていきます。



新鮮な野菜をPRします



豪快に丸焼きした牛肉を振舞います



手際よく杵で餅つきをします

雲 南

一宮自主連合会「寄り合いの場」開設 ～世代間交流で活気あふれる地域へ～

雲南市三刀屋町の一宮地区自主組織「一宮自主連合会」では、一宮交流センター内に今年の3月に地域の高齢者や隣接する三刀屋こども園に通う若い保護者が、気軽に「寄り合える場」として「いちにこカフェ」を開設しました。

一宮地区の方がいつも笑顔で「にこにこ」から名付けた「いちにこカフェ」。5月は地域の方や地域外からの利用者約60人が、200円で提供される手作りシフォンケーキとコーヒー、紅茶を味わい、世間話に花を咲かせています。

また、会場の壁際には地域の方たちが手掛けた写真や習字、生け花などが展示されており、来場された方は作品鑑賞も楽しむことができます。

一宮自主連合会の阿川光美会長は「寄り合いの場として地域の方に喜んで利用していただき、活気ある一宮にしていきたい」と意気込みを語っていました。



カフェに集い談笑する利用者の皆さん

隱 岐

どろんこ運動会で笑顔

隱岐の島町立有木小学校は5月22日、初夏の暑さの中、地元水稻農家の田植え前の圃場で「豊作祈願どろんこ運動会」を行いました。運動会では生徒達による豊作祈願のあと、アメ食い競争や綱引きなどが行われましたが、生徒たちは躊躇することなく泥まみれになっていて、さすが普段から山や海に育てられた子達だなと感じました。今後は生徒達で田植え体験学習を行い、秋には稻刈り体験、また収穫されたもち米を使用した餅つきを行いつきたての餅を食べる予定です。



くにびき

胸部CT検診で健康チェック

くにびき地区本部は組合員などを対象に、胸部CT検診を5月中旬に4日間にわたり実施し、約140名が受診しました。

当地区本部では、組合員などの健康づくりに役立ててもらおうとJA島根厚生連と連携し、毎年実施。胸部CT検診では、胸部レントゲンでは分からず、「微小ながん」を早期に発見できるほか、喫煙による慢性閉塞性肺疾患もはっきり抽出されるのが特徴です。

受診者は、松江市内4箇所のAコープ店駐車場に設置されたヘリカルCT検診車で受診。生活習慣から肺がんやその他の疾患にかかるリスクなどを問診した後、胸部CT検診を開始。短時間で肺の状態を細かく調べました。

Aコープたまゆで受診した、宍道町の池尻克則さん(70)は「早期発見で助かることがある。今後も受診していきたい」と検診の重要性を再認識していました。



やすぎ

地元の子ども達が田植え体験

安来市立布部小学校の3年生から6年生17人は5月9日、昔ながらの手作業による田植え作業を体験しました。今年で15年目となるこの体験は、少しでも農業に興味を持ってほしいという思いから、布部地区の農家である小藤昇さんらの協力のもと毎年行われています。

作業前にはJA職員から、米作りの流れや肥料として使われている「米の精」についての説明がありました。説明が終わると、児童らは一列に並んで田んぼに入り、上級生が下級生に教えてあげながら、目印となる白線に書かれた赤い点に沿って丁寧にコシヒカリの苗を植えてきました。

最後に小藤さんは児童らに向け「今日植えた苗が秋にはたくさんのお米になり、収穫の時にはどれだけ実っているか楽しみにしていて下さい」と話されました。



斐川

あぐり探検隊始動！

5月12日、町内の小学3～6年生を対象とした農業塾「あぐり探検隊」の第一回目の活動が行われました。この取り組みは、斐川地区本部と出雲市が協力し、農業体験を通じて斐川地域の農業学習と食育に対する理解を深めもらうことを目的に行われている活動です。



今年は33名が探検隊員として認定され、(農)あかつきファーム今在家が所有する約720m²の圃場で隊員とその保護者約35名が、もち米の田植えを行いました。慣れた手つきで苗を植えていく隊員や、初めて入る田んぼに足を取られて尻もちをつく隊員の姿も見られました。隊員たちは「裸足で入ると土の感触が気持ちいいね」「どんどん地面に吸い込まれていきそう」と話しながら丁寧に苗を植えてきました。田植え後は会場を農業ホールに移して、斐川女性部の指導のもと、10mのジャンボのり巻き作りに挑戦し、完成したのり巻きと女性部の特製豚汁を食べながら交流を深めました。次回は、夏野菜の苗植えと田んぼの生き物調査を行う予定です。



石見銀山

鳥井小学校児童がぶどうの栽培体験学習

大田市ぶどう生産組合は5月9日、大田市鳥井町の大田市立鳥井小学校で「ぶどうの栽培体験学習」を開きました。同校3～4年生19人が総合学習の時間を活用し、年間を通じて、「デラウェア」栽培を体験します。

この日は、同組合の組合員4名と、島根県、大田市、JAの担当職員が小学校を訪問しました。

前段は、教室でぶどうに関する座学を行い、ぶどうの種類や、作業内容、ぶどうにつく害虫などを児童にわかりやすく説明しました。

説明を聞いた児童は「なぜ鳥井町ではぶどう栽培が盛んなのか」など生産者に質問しました。

続いて、同校内のほ場「ぐんぐんハウス」にて、児童は生産者の指導のもと丁寧に摘心・ジベレリン処理を行いました。一通り作業が終わると、「もっとやりたい」などの声があがりました。

児童は「水やりや草抜きを頑張ってぶどうを大きく育てたい」など感想を話しました。今後も、水やりや草抜き等児童で管理していきます。



大田市ぶどう生産組合員の指導のもとジベレリン処理をする児童

隠岐
どうぜん

第4回女子講座開催

4月20日（土）、第4回女子講座として「隠岐の島町観光めぐりの旅」を企画しました。島前に住む者として同じ隠岐諸島にありながら行く機会に恵まれない島後の「隠岐の島町へこの春に行ってみたい」ということで、勉強とクリエーションを兼ねての実施となりました。朝一番の高速船レインボージェットであつという間に隠岐の島町に渡り、遠くて近いを実感しました。最初に隠岐國の代表的な神社で億岐家が代々神職を務める玉若酢命神社で、樹齢千年とも二千年とも言われる八百杉（国の天然記念物）の大きさに圧倒され、次に蓮華会舞（国の重要無形民俗文化財）で知られている「隠岐国分寺」をまわり、最後に少し歩いて、名水百選や日本の秘境100選に名を連ねている「壇鏡の滝」に向かい、マイナスイオンを身体いっぱいに浴びリフレッシュしました。港までのバスでは、ガイドさんによる隠岐民謡「しげさ節」を堪能し、帰りのフェリーでは、反省会をしながら昼食弁当を美味しくいただきました。限られた日程の中でしたが、天候に恵まれ有意義な女子講座を満喫することができました。



出雲

丸山県知事がぶどう産地視察
集荷所・圃場で現状把握

4月30日に就任した丸山達也島根県知事が5月1日、JAしまね出雲地区本部荒茅ぶどう集荷所を訪れ、「島根ぶどう」の主力品種「デラウェア」を視察しました。丸山知事は「ブドウは島根を代表する園芸作物。出荷状況等、現状を把握しておきたい」と、早朝に行われた検査を見学し、検査員、JA職員らから説明を聞きました。

4月19日に出荷が始まった令和元年産「デラウェア」は、1,100トン、販売金額14億4,200万円の出荷を計画しています。

集荷所での視察を終えた丸山知事は、JAしまね出雲ぶどう部会の園山榮部会長のブドウハウスも訪問しました。園山部会長は「デラウェアの税別キロ単価1,300円の目標達成にも県の協力は欠かせない。このタイミングで産地に来てもらい、現場を知ってもらえたことが嬉しい」と話しました。



検査員から話を聞く丸山知事（右）

西いわみ

契約ケールの出荷始まる

(株)キューサイファーム島根と契約する農家が5月21日、ケールを初出荷しました。

ケールは農薬や化学肥料を一切使用しない有機JA S認証圃場で栽培したもので、(株)キューサイファーム島根と契約する管内5戸の農家、法人が出荷を担っています。

当日は、津和野町中山で栽培を手がける金田信治さんが約10kgを詰めたコンテナ50ケースを益田市虫追町の(株)キューサイファーム島根青汁工場に出荷しました。

ケールは露地での栽培が主であることから、他の作物圃場からの農薬飛散に注意する必要があるものの、化学肥料や農薬代等の費用がかからず、栽培管理も比較的容易であることや、契約による買取の為、収入も安定すると言われています。



本店

次世代のリーダー育成 JA戦略型中核人材育成研修会開催

松江市内で13日、第9期JA戦略型中核人材育成研修会がスタートしました。JA・連合会の中堅職員17人が参加する本研修は、次世代のリーダーとして、組合員の営農と暮らしを起点におき、JA理念やビジョンをふまえた事業戦略の企画立案・実行をマネジメントできる「自律創造型の人材」を育成することを狙いとしています。

初回となる今回は竹下正幸組合長が特別講義を行いました。竹下組合長は自身の経歴や事業に対する考え方を伝えながら「自分に課せられた仕事を責任持ってやり遂げる“覚悟”、組合員に感動を与え最大限の力を發揮し、やりがいの有る職場にする“情熱”、与えられた仕事を必ずやれると信じて仕事をする“信念”を持ち、新たな気持ちで今後の研修会を受け、一人ひとりがJAしまねを背負っていくことを期待する」と激励しました。

同研修会は延べ11日間、全5回開催し、来年1月の最終研修では終了論文を発表する予定です。



島根 おおち

年金受給者日帰り旅行

島根おおち地区本部は5月15日、JAに年金振込をご指定いただいている方を対象とした日帰り旅行を行いました。今年は、世羅ゆり園、リーガロイヤルホテルでのランチ、広島市内散策の日程で開催し、92名にご参加いただきました。

日本最大級のゆり園である「世羅ゆり園」では、園内に咲く数十万本の色とりどりのユリや、ビオラの花畠などがあり、当日は天候も良くユリの香りのなか、ゆり園の春の景色を楽しみました。「世良ゆり園」の後は広島市内に移動し、リーガロイヤルホテルにてJAしまねオリジナルランチをいただきました。昼食後は、各自で市内を散策し、2016年にグランドオープンしたおりづるタワー等を観光しました。

この旅行は年金受給者の輪を拡げていただくとともに、相互の親睦を図っていただくことを目的に毎年開催しています。島根おおち地区本部では、今後もJAで年金をお受け取りいただいている方への特典を企画していきます。



いわみ 中央

伝統芸能にJA職員が参加

いわみ中央地区本部は5月19日、江津市川平町で開催された花田植え（川平町花田植実行委員会・松平たすけ愛協議会主催）に参加しました。26回目となる今回は、天候にも恵まれ300人を超える参加者や観衆が集まりました。まず初めに華やかに飾った鞍を付けた牛6頭による代かきが行われました。その後、地域住民や石見智翠館高校女子ラグビー部員・一般参加者と一緒にJA女子職員らが早乙女として、川平町田植え囃子保存会の奏でる囃子に合わせて一斉に田植えを行いました。観衆からは一生懸命手植えしている早乙女さんへ多くの声援が集まり、早乙女で参加したJA職員は「大変だったけど、声援もたくさんいただけたので頑張れた」と話しました。

昼からもタイ舞踊やミニライブ・お楽しみ抽選会などがあり、子供から大人までが楽しめる一日となりました。

JJAは、この様な伝統芸能「花田植え」の継承活動を一緒に行うことで、地域活性化へのお手伝いを今後も続けていきたいと思います。



クロスワードパズル

出題 ニコリ

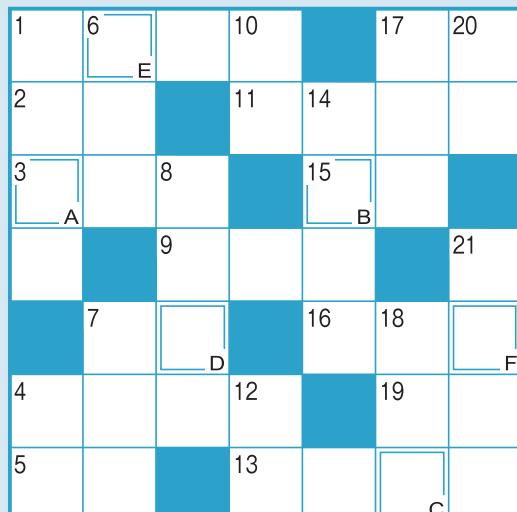
タテのカギ

- ①大丈夫だから、——に乗ったつもりで待っててね
- ④ブーブーと鳴きます
- ⑥高校の公民の教科の一つ
- ⑦新鮮な空気を取り込んで汚れた空気を追い出すこと
- ⑧お好み焼きにたくさん入れる葉野菜
- ⑩彼とは同じ釜の——を食った仲だ
- ⑫肩と手首の間
- ⑭酸と混ぜると中和反応が起きます
- ⑯米国の50番目の州。南の島です
- ⑰焼き肉店のメニューで肝臓のこと
- ⑲由緒ある神宮や夫婦岩で知られる三重県の市
- ㉑一番良い物はベスト、一番悪い物は

ヨコのカギ

- ①七夕に彦星と会います
- ②オフの反対語
- ③スズでめっきした鉄板。一斗缶やバケツなどに用いられます
- ④手紙のやりとりで交流すること
- ⑤ナイアガラ川にあるものが有名
- ⑦時計を掛けたり絵を飾ったり
- ⑨京都市で行われる祇園祭は——神社の祭礼です
- ⑪高倉健主演の映画『——の黄色いハンカチ』
- ⑬百貨店ともいいます
- ⑮——は友を呼ぶ
- ⑯何人かでバトンをつなぐ競走
- ⑰息を吸うと膨らむ臓器
- ⑲観光、夜行、2階建てといえば

二重マスの文字を A～F の順に並べてできる言葉は何でしょうか？



答え

A B C D E F

◆先月号の答え◆
「アマガエル」



腸活で食中毒予防

JA島根厚生連



春から夏にかけて日ごとに暖かくなるとともに、細菌性の食中毒が起こりやすい季節になってきます。細菌性食中毒を防ぐ方法は、原因菌を「つけない」「増やさない」「やっつける」ことが基本です。しかし、一方で同じものを食べても食中毒を起こす人と起こさない人がいます。その違いは「腸内細菌の違い」といわれています。日頃から腸内環境を整える「腸活」をして免疫力を高めることも大事な予防法の一つです。



腸には、体内の免疫細胞の約6割が集中しています。健康的な腸内環境では、ビフィズス菌や乳酸菌などの善玉菌が活発に機能しています。善玉菌を増やす働きのある食べ物として、ヨーグルト・漬物・納豆などの発酵食品があげられます。また、善玉菌のエサになる「食物繊維」の豊富な食品を摂ることもおすすめです。代表的なものはさつまいも・切り干し大根・かぼちゃ・ごぼう・たけのこ・ブロッコリー・モロヘイヤなどです。「オリゴ糖」も善玉菌を増やす力があり、大豆・たまねぎ・ごぼう・ねぎ・にんにく・アスパラガス・バナナなどの食品に多く含まれていますので、これらの食材を積極的に食事に取り入れていきましょう。バランスのとれた食生活で「腸活」をして免疫力を高め、食中毒に負けない健康づくりを心がけたいものです。



やすぎ乾椎茸品評会開催



やすぎ椎茸部会は5月16日、令和元年度やすぎ椎茸部会乾椎茸品評会をJAしまね広瀬支店経済課で開催しました。当日

は、乾椎茸11点が出品され、県や（一財）日本きのこセンターなどの担当者が島根県乾椎茸品評会審査基準をもとに大きさや形、色合いやしわの具合などを規格ごとに審査し、藤原康孝さん出品のこうこが優秀賞一席に選ばれました。

審査員を代表して島根県東部農林振興センターの藤田勝さんより「異常気象により全国的に生産量が減少している中、質の高い乾椎茸を出品されたことは大変すばらしいです」と講評がありました。

また、品評会後、日本きのこセンターの影井和男所長から、今年の乾椎茸の生産管理のポイントや市場動向などの説明があり、部会長の藤原康孝さんは「ためになるお話を聞いていただきましたので、今後はほど木や品質の管理に努めたいと思います」と話されました。

入賞の結果は右記の通りです。

優秀賞

東部農林振興センター所長賞	こうこ・藤原 康孝
安来市長賞	どんこ・大塚 聖治
しまね東部森林組合長賞	こうしん・藤原 康孝
島根県農業協同組合やすぎ地区本部長賞	こうこ・大塚 聖治
森産業株式会社賞	どんこ・藤原 康孝
日本きのこセンター賞	どんこ・藤原 昌則
やすぎ椎茸部会長賞	こうしん・山根 忠



GCはしま店誕生祭開催



飯島町にあるグリーンセンターはしま店は5月25日、誕生祭を開催し大いに賑わいました。当日は来場者へ日頃の感謝の気持ちを込めて、

金山寺味噌のてんこ盛り実演販売や新茶の詰め放題、直売部会役員自らが手作りした筍カレー、苺スムージー、葡萄スカッシュをそれぞれ200人前無料で提供し、来場者に好評でした。はしま店は2007年にオープンし、さらに2014年にリニューアルオープンを行い、今年でリニューアル5周年目となります。イベントに訪れた方は「カレーが飲み物がすごく美味しいです。普段から利用していますので、こういうイベントがあるといいですね。」と話しました。



新入職員が農業研修

やすぎ地区本部の新入職員2人は5月22日から24日の3日間、農青連の協力で盟友の農場3カ所で



農業研修を行いました。研修では、球根堀りやイチゴの苗管理、ほうれん草の収穫や袋詰めなど様々な作業を体験しました。

この研修は、JAしまね統合前から県下11地区本部で実施されており、JA職員として農家とコミュニケーションを取りながら農作業を体験します。特に近年は非農家の職員も増えており、実際に現場を学べる貴重な機会となっています。



作業を体験した新入職員は「作業は大変でしたが多くのことが学べたので、今後の業務に活かしていきたいと思います」と意気込みました。

J A女子大学第6期入学

J A女子大学やすぎキャンパスは5月22日、第6期生7人の入学式をJ Aしまね安来南支店で開催し、やすぎ地区本部本部長の伊藤精一学長から学生ひとりひとりに学生証が手渡されました。

同大学は、地域の女性が文化教養や美容、調理実習や農業体験など幅広い分野の講座を通して、仲間作りと自分磨きを目的としており、開校して11年目となります。学生は全67単位のカリキュラムを、2年間に渡り毎月受講します。

伊藤学長は「今まで卒業された皆さんも、最初は年齢も違う初めて会う人と少し緊張しながら講座を受講されていましたが、数ヶ月後には打ちとけて受講されました。皆さんも早い段階でそうなってほしいと思います。」と期待を込めて話しました。



小学生が梨の袋掛けを体験

やすぎ担い手支援センターは5月29日、同センターで安来市立島田小学校の3年生29人と梨の袋掛け作業を行いました。この取り組みは、地元の特産物や農業に関心を持ってもらいたいと7年前から行っており、児童は総合的な学習の時間を使って、年間を通して梨について学んでいます。

児童は「幸水」の木に実った梨を見つけると、県やJAの職員から袋掛けのやり方を教わりつつ、台に乗り背伸びをして手をいっぱいに伸ばしながら、ひとつひとつ丁寧に袋を掛けっていました。児童は「高くて届かないところもあったけど、楽しかったです」と話し、作業後には質問を積極的に行い、メモをとりながら梨についてしっかりと学びました。

秋には収穫体験をする予定で、同センターの中川治所長は児童に「秋の収穫を皆さん楽しみにしていて下さい」と話しました。



中学校で自転車交通安全教室開催



J A共済連島根とJ Aしまねは、島根県警察本部と連携して、5月

21日に安来市立第二中学校で自転車交通安全教室を開催しました。

教室では、自転車の急な飛び出しで車と激突し被害に遭う事故など、プロスタッフによる演技が再現され、事故の怖さを疑似体験しました。教室を終えた生徒は「今回の教室で交通事故の怖さを知ることができました。今後も交通マナーをしっかり守っていきたいです。」と話しました。

J A共済では、交通事故の再現ステントを県下の中学校・高校にて開催しており、生徒に危険性を疑似体験させることで、学生の交通マナー向上を目指しています。主催者を代表してやすぎ地区本部の伊藤精一本部長は「今日の交通安全教室を通じてしっかりと交通マナーを意識して下さい」と話しました。

地域と学校で食農教育

伯太町下小竹の新田谷地区は5月24日、安来市立赤屋小学校の1・2年生12人と一緒にサツマイモの苗植えを行い、皆で協力し合い約150本植えました。同地区からは約10人が参加し、事前に畝たてやマルチ張りなどを行った後、やすぎ地区本部の営農指導員が児童に苗の植え方などを指導しました。

児童は竹の棒を使って苗を押し込んで植えていき、1つ1つ丁寧に水やりと土かけを行いました。参加した児童は「うまく植えることができて楽しかったです」と話し、秋

の収穫を心待ちにしていました。

新田谷地区では、国の多面的機能支払交付金を利用して、使用されなくなった畑で児童とサツマイモの栽培を行っています。この活動は毎年行われており、児童の交流や食農教育にも繋がっています。



安来の元気なこども達を紹介します！

未来の主役たち

ひまり 曾我向葵ちゃん(5さい) つきの 月乃ちゃん(1さい)



最近、鉄棒で前回りができるようになつた向葵ちゃんは、ディズニーとプリキュア好きの女の子。夢は、ディズニーキャラクターのアリエルみたいになりたいんだって！また、好きな食べ物はバナナとアイスで、特にアイスはお風呂上がりに1本食べるのが習慣みたい。

4月から大好きなお姉ちゃんと一緒に保育園に通い始めた月乃ちゃんは、少し暴れん坊な性格の女の子。好きな食べ物はパンで、インタビュー中にも食べるほど!最近は少しずつ言葉が話せるようになり、意思疎通もできるようになったんだって。

そんな2人はおもちゃの取り合いで時々ケンカもするけれど、ゴールデンウィークに家族でアウトレットにお出かけした際、たくさんおもちゃを買ってもらった可愛らしい姉妹でした。

～お父さんお母さんより～

「甘えん坊だけど、妹思いの向葵ちゃん。元気いっぱいでちょっとぴり暴れん坊のお姉ちゃん大好きな月乃ちゃん。健康で元気に育ってください。これからも家族4人で仲良く過ごそうね。」



5月29日開催

○講師：栄養士 飯塚生美子 氏



- ◆ じゃが芋を使った料理はこれから収穫するので、これは絶対作ってみようと思います。

◆納豆の洋風おやきは混ぜる食材を変えて楽しみたいです。

お問い合わせ・申込み先

JJAしまねやすぎ地区本部 ふれあい福祉課（担当：宇山）

電話：0854-22-3751



ふれあい福祉課だより

地域密着型のデイサービスセンター

市内飯島町に位置するJAしまねやすぎデイサービスふれあいの周辺は、30年前の田園風景がすっかり様変わりし、いまでは住宅街となりました。近くには保育園や幼稚園、小中学校があり、朝夕の通園通学時間に心和む場面を目にすることもあります。

デイサービスふれあいは、一日の最大受け入れ人数18人…と、こぢんまりとした雰囲気が喜ばれており、ご利用のみなさまに楽しみを見いだし、生きがいを持っていただけるよう、職員一同創意工夫したサービス提供に努めさせていただいている。また、地域からお越しいただくボランティアの方々にはいつも大きな力をいたしております。心から感謝申し上げ、これからも変わらぬご支援をいただきたく、よろしくお願ひいたします。

お問い合わせ

JAしまね やすぎ福祉サービスセンター
TEL: 23-8230 FAX: 23-8231



踊りや演奏など喜ばれる工夫がたくさん！



女子大レポート

ガーデニング講座

講師
江戸 賢司 氏



今回の女子大は、米子市にある「園芸センターえど」の江戸賢司氏を講師に招き、花を寄せ植えするガーデニング講座を行いました。学生の皆さんには、鉢の選び方やキレイに見える花の選び方、管理方法などを学ばれました。また講座では、寄せ植えするカラフルな花の中から計5種類を迷いながら選んだ後、皆で数種類の用土を混ぜて作った土を使い寄せ植えされました。

学生感想

- ◆基礎知識のないところから丁寧に教えていただいて良かったです。
- ◆これから自分や娘の好みに合わせて色々な寄せ植えを作つてみようと思います。

6月の一番商品



【対象期間】令和元年7月末まで

品質と価格でおすすめ!
アイアグリ

こん
は
根も葉も枯れる

葉から入って根を枯らす!

グリホサート剤

コンパカレール

グリホサートが効く!

大量散布にも最適!
難雑草も枯らす!

安心です。

経済的です。



農林地政登録農業用除草剤第2099号

規格	特別価格(税込)	規格	特別価格(税込)
500ml	610円	10L	10,000円
2L	2,200円	20L	18,300円
5L	5,380円		

適応場所、適応雑草及び使用量

作物名・適応場所	適用雑草名	使用時期	10aあたりの使用量		本剤及びグリホサートを含む農薬の総使用回数
			薬量(ml)	希釈水量(L)	
キャベツ・はくさい・だいこん	畑地 一年生雑草	雑草生育期(草丈30cm以下) 耕起7日前まで	250~500	100	1回
水田畦畔	一年生雑草	雑草生育期(草丈30cm以下) 収穫14日前まで	250~500		2回以内
	多年生雑草		500~1000		
水田耕起前	一年生雑草	雑草生育期(草丈30cm以下) 但し耕起20~10日前まで	250~500	50~100	1回
梨・りんご・かんきつ	一年生雑草	雑草生育期(草丈30cm以下) 収穫7日前まで	250~500		3回以内
	多年生雑草		500~1000		
道路・宅地・公園 運動場・駐車場 法面など	一年生雑草	雑草生育期(草丈30cm以下)	500	100	3回以内
	多年生雑草		1000		
	スギナ	雑草生育期	2000	50~100	
造林地(地ごしらえ)	スギナ、笹類等の多年生雑草、落葉、雜灌木	生育盛期以降(夏~秋期)	1000	30	1回

お問い合わせ・お申し込みは、
やすぎ地区本部 各支店経済課 または 資材課(TEL:28-7800)まで

旅行のお問い合わせ、お申しおりは、下記旅行センターへ。

【株式会社農協観光代理業】観光庁長官登録旅行業第939号
お問い合わせ窓口: 03-5735-0111

JALしまねやすぎ旅行センター JALしまね雲南旅行センター JALしまね出雲旅行センター
☎0854-28-6600 ☎0854-42-0119 ☎0852-21-2205

JAしまね斐川旅行センター JAしまね石見銀山旅行センター JAしまね旅行センター本部
0853-26-0699 0854-42-9118 0853-21-3303
0853-73-9625 0854-82-3501 0853-25-8907
総合旅行業者取扱管理者 佐川 繁智 総合旅行業者取扱管理者 今岡 理恵
JAしまね斐川旅行センター 佐川 繁智 総合旅行業者取扱管理者 藤本健一

総合旅行業務取扱管理者 古川由美子 国内旅行業務取扱管理者 西村 雄一 総合旅行業務取扱管理者 圓山 純子
お申込みは各地区旅行センターへお願ひします

★くにひさ地区管内のお客様は、震災観光へお問い合わせ・お申込みをお願いします。
★総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う支店での取引きに関する責任者です。このご旅行

Digitized by srujanika@gmail.com

旅行企画 実施

NOKYO TOURIST CORPORATION
旅行業公正取引
協議会会員

一般社団法人日本旅行業協会 正会員 觀光旅長官登録旅行業第93号
株式会社農協観光

島根支店 **TEL 0852-26-2600**
〒690-0852 松江市千鳥町15 コーピル1F
出雲営業支店 **TEL 0853-21-3305**
〒693-0001 出雲市今市町87(ラピタ本館)

平計取

予約を承取りし申込書と申込金を領受したときに成立するものとします。	
銀行代金は、旅行開始日の始から起算してさかのぼって21日前にたる日までにお支払いください。	
取消料	
取 消 日	取 消 料
旅行出発日の21日前より起算して21日前まで	無 料
旅行出発日の21日前より起算して20日～8日前まで	旅行代金の 20%
旅行出発日の20日前より起算して7日～2日前まで	旅行代金の 30%
旅行出発日の7日前より起算して3日前まで	旅行代金の 50%
旅行出発日の3日前より起算して1日前まで	旅行代金の 100%
旅行開始後及び無連絡不参加	旅行代金の100%

●この旅券の条件書は、令和元年5月1日を基準日として作成してあります。

JJA新車!

ほっとフェスタ 展示予定

チラシ期間:2019年7月末日まで

サンバートラック

お奨め 軽トラック

車両本体価格 1,031,400円
付属品 38,988円
合計 1,070,388円のところ

970,000円

車両本体価格 993,600円
付属品 22,680円
合計 1,043,982円のところ

936,000円

その他にも
新車が盛りだくさん!!

お問い合わせ
JAしまねやすぎ地区本部 自動車課
TEL:0854-32-2461

生活燃料課より

シロアリ警報!初夏は羽アリが多発!!

JALしまね

無料

シロアリは確かな
実績と安心の
JAへご相談
お宅は大丈夫ですか?

シロアリ来襲

シロアリの予防・
駆除は確かな
実績と安心の
JAへご相談
お宅は大丈夫ですか?
あなたのお家を守ります。

こんなお宅は要注意

- 駐車場の隣に木材がある家
- 犬舎でシロアリが見えた家
- 洋服やトイが黒い化粧箱
- 百合芋が咲いた家
- 床下調査下の透かしで黒くなつた家

シロアリの予防・
駆除は確かな
実績と安心の
JAへご相談
お宅は大丈夫ですか?
あなたのお家を守ります。

シロアリ防除は
「(公社)日本しろあり対
策協会登録正業」であることを
必ず確認しましょう。

JJAのシロアリ予防・駆除は安心です。
前田最大量の木材が、シロアリや木蠹虫に害によって失
われております。JAとして、協会員の皆様の住まいの耐用
半数を冠すし、住まいを守る天災対策として、シロアリおよ
び虫害駆除対策を行っております。

環境に適合した薬を使用
(公社)日本しろあり対策協会で効力・安全性の審査に合格
した認定業者を使用しています。

資格者(プロ)による施工
(公社)日本しろあり対策協会の施工仕様にのっとり「しろ
あり駆除施工士」が施工しています。

JALしまね やすぎ地区本部
赤江支店 TEL:28-9030 安来東支店 TEL:22-2290 安来南支店 TEL:22-1123
伯太支店 TEL:37-1414 広瀬支店 TEL:32-2336 生活燃料課 TEL:28-7200

床下の無料調査(シロアリ駆除・防除等)に伺います。

床下の無料調査をご希望の方には、JAしまね取扱業者「コダマサイエンス」の
地区担当者が訪問しますので、よろしくお願い致します。

村上 紀文 石川 由之

取扱業者 株式会社 コダマサイエンス JA全農基本契約業者「轟兎玉商会」特約施工店
(公社)日本しろあり対策協会正会員 ■松江営業所 TEL0852-26-6757
会員登録番号 002 ■各営業所/津市・益田・朝日・鳥取・倉吉・米子・広島
会員登録番号 002 (本社)〒690-0048 島根県松江市西嫁島2丁目8-23
<http://www.kodama-s.co.jp/>

人事異動

- ◎異動（令和元年6月1日付）（ ）内は旧部署
- ▼企画総務部企画総務課付・野路佳佑
(営農経済部生産流通課)
- ▼伯太支店赤屋店・永田嘉博
(伯太支店信用課信用共済複合渉外)
- ◎採用（令和元年6月1日付）
- ▼企画総務部企画総務課付事務見習い・
足立かおり
- ◎退職（令和元年5月31日付）
- ▼伊藤あづさ▼藤原和子

7月の外務日は
17日(水)・18日(木)
担当職員がお伺いします。

ほっとフェスタ2019を開催します 【第5回総合展示会】

ほっとフェスタ2019（第5回JAしまねやすぎ地区本部総合展示会）を開催いたします。ご満足いただける充実した品揃えと、楽しんでいただけるイベントを企画して皆様のご来場をお待ちしております！

とき 7月21日(日)
午前9時から午後3時30分
ところ JAしまね やすぎ生産センター

税務相談会日程

- 広瀬支店 6月24日(月)10時～12時
- 安来東支店 7月1日(月)10時～12時
- 伯太支店 7月1日(月)13時30分～15時30分
- 広瀬支店 7月17日(水)10時～12時

年金相談会日程

● 7月8日(月) 9:00～14:00 (広瀬支店)

事前にお電話にて相談時間のご予約をお勧めします。
最寄りの支店または資金課(22-3752)までお問い合わせください。

以下のものをご持参いただければ、詳しいご相談ができます。

- ねんきん定期便 ●年金手帳及び年金番号通知書（ご本人・配偶者）
- 年金証書（ご本人・配偶者） ●年金請求書 ●認印 ●年金加入記録のお知らせ等



市況動向

島根中央子牛市場
(単位:円・頭)

種別区分	地区区分	安来地区	伯太地区	広瀬地区	地区平均	中央市場
雌	平均価格	674,520	0	563,220	654,284	713,747
	頭数	8	0	2	10	114
	最高価格	943,920	0	582,120	943,920	1,217,160
又 キ	平均価格	841,320	914,760	828,225	843,537	824,377
	頭数	9	2	8	19	138
	最高価格	945,000	925,560	927,720	945,000	999,000
総 平 均 価 格	757,920	914,760	775,224	774,144	774,330	
合 計 頭 数	17	2	10	29	252	

5月子牛市場県外移出頭数

	山口県	長野県	兵庫県	香川県	静岡県	滋賀県	福岡県	その他	合計	県外移出率
雌	21	23	18	7	9	7	1	34	120	68.18%
去	15	9	12	10	3	5	10	8	72	36.36%
合計	36	32	30	17	12	12	11	42	192	51.34%

肥育センター5等級評価牛（5月出荷分）

血統	種別	枝重	格付	BMS	備考
花之国－安福久－百合茂	去勢	425.4kg	A5	9	

全国・本県“反落”の取り引き

令和元年5月の全国主要子牛平均価格（全農・畜産生産部5月17日現在速報）は、雌738千円（前月比98%）、去勢843千円（前月比98%）で“反落”的な取り引きとなっています。

本県5月の子牛市場は西部・中央で開設し、365頭の上場があり、平均価格は西部市場720千円（前回比9千円安）で“弱気配”、中央市場は774千円（前回比29千円安）で“反落”的な取引きとなりました。今月の西部・中央市場は極端な過肥・体積不足の牛が目立ちました。また5月の10連休後の枝肉相場低迷が素牛価格に直接影響した月となりました。

夏に強いスタミナ野菜 モロヘイヤ

あなたもチャレンジ！

家庭菜園

園芸研究家●成松次郎

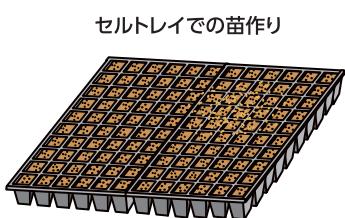
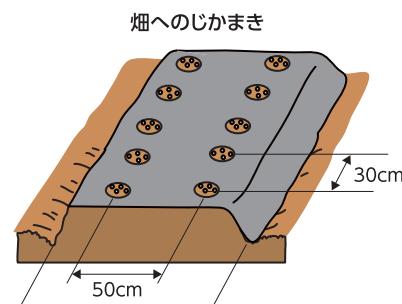
モロヘイヤは、暑いほど生育が旺盛な野菜。別名「シマツナソ」「タイワンツナソ」とも呼ばれるアオイ科の1年生植物で、主にエジプトを中心に北アフリカ、中近東で栽培されています。古代エジプトの王が病気になり、医師がモロヘイヤスープを飲ませるとたちまち全快したことから、「王様の野菜」と呼ばれていたそうです。カルシウム、β-カロテン、ビタミンBなどが豊富な野菜です。葉を刻むと粘りが出ます。ただし、子実には有毒物質を含むため、さやの付いた茎葉は食べてはいけません。

[品種] 日本に導入されている品種は同系統と思われ、品種分化は見られません。「モロヘイヤ」として販売されています。

[栽培期間] じかまきでは、5月下旬から6月中旬に種まきし、収穫最盛期は7～9月です。

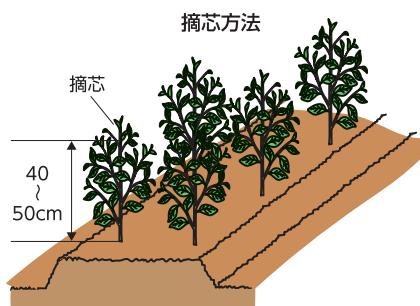
[畑の準備] 畑に

1平方m当たり
苦土石灰100gを
散布し、種まき
の1週間前には
化成肥料(N-P-K=10-10-10%)
100gと堆肥1kg
を施し、幅90cm
の栽培床(ベッド)
を作ります。



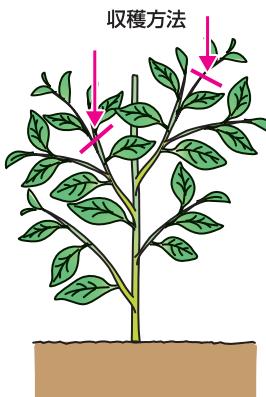
[種まき] 発芽の適温は30度程度と高温のため、早まきしないこと。準備した栽培床に2条、条間50cm、株間30cmとして、1カ所4～5粒の点まきにします。なお、セルトレイで苗を作り、本葉4～5枚の苗を植え付けても良いでしょう。

[管理] 間引きは2回に分けて行い、本葉4～5枚までに1本にします。草丈が60～70cmのとき、地面から40～50cmの高さで摘芯します。



追肥は2～3週間置きに1平方m当たり化成肥料50g程度を施用します。茎が赤みを帯びてたら肥料の不足です。また、十分に灌水(かんすい)すれば、柔らかい葉が収穫できます。

[収穫] 収穫方法は、側枝に2～3節を残して、20cmくらいの先端葉を切り取ります。盛夏には2週間置きに収穫できます。なお、花は9月ごろから開花し、10月には結実(さや)します。



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

理事会情報（5月10日開催）

【協議事項】

- ①農業振興支援事業「平成31年度農業災害復興対策支援事業要領」の一部改正について
- ②農産物検査業務規程の一部改正について
- ③令和元年産島根米の生産集荷販売方針について
- ④平成30年度島根米需要拡大事業取組み実績ならびに令和元年度の取組み計画について
- ⑤靈柩運送料金の変更および靈柩運送事業運営規程の一部改正について
- ⑥出雲地区本部旅行業務の運営方式の変更および旅行センターの廃止について

- ⑦信用事業方法書(為替取引)の変更について
- ⑧信用共済事業の事業改革に向けた方向性について
- ⑨大口貸出金の承認について
- ⑩島根県常例検査に対する回答書について
- ⑪貸出審査体制整備基準の変更に伴う貸出審査権限の見直しについて
- ⑫目的積立金の取崩について
- ⑬平成30年度決算について
- ⑭平成30年度決算にかかる剰余金処分案について
- ⑮「財務調整」および「地区本部別損益管理」について
- ⑯第2次中期経営計画案について

- ⑰令和元年度事業計画案について
 - ⑱「経営基盤強化積立金規程」の一部改正について
 - ⑲令和元年6月1日付け出雲地区本部の機構改革の実施について
 - ⑳教育研修課が行う研修機能のJA島根中央会への移管について
 - ㉑令和元年度の自己改革の取り組みについて
 - ㉒役員改選にかかる役員候補者の決定について
 - ㉓定款及び規約の一部変更について
 - ㉔監事監査規程の一部変更について
- (紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

床下の無料調査(シロアリ駆除・防除等)に伺います。

床下の無料調査をご希望の方には、JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの地区担当者が訪問しますので、よろしくお願い致します。



お問い合わせは、最寄のJA各支店へご連絡ください。

八方漬



- 八方だしに酢、唐辛子を入れて、すこしピリ辛いあっさり上品な味の漬物風です。常備菜として作っておいてください。漬物風ですが塩は入っていないので塩分控えめです。いろいろな野菜、ゆでたまごなど漬けてみてください。
- 漬け込む時間により味が濃くなってきます。好きな味をみつけてください。

●材料（4人分）

大根	100g	本みりん(煮切る)	100cc
きゅうり	1本	しょうゆ	100cc
人参	90g	酢	50cc
みょうが	40g	昆布	5cm×5cm
生姜	1かけ	タカの爪	1本
		ビニール袋	1枚

●作り方

- 大根、きゅうり、人参は5cm幅で7mm角の拍子切りにする。
- 生姜は千切りにする。
- みょうがは縦半分か1/4に切る。
- タカの爪は半分に切り種を取る。
- 本みりんを鍋に入れ煮切り冷ます。
- ビニール袋に調味料と野菜を入れて空気をぬき、すこしもんでも30分ぐらい置いて冷蔵庫に入れる。その後すぐ食べられます。

春のさわやかサラダ



緑色のきれいな野菜の美味しいさっぱり味のサラダです。野菜がパリパリするように食べる直前にドレッシングをかけてください。チーズはいろいろな種類で作ってみてください。

●材料

スナップエンドウ	100g	酢	大さじ1/2
アボカド	1個	塩	ひとつまみ
(レモン汁 少々)		オリーブ油	大さじ1
レタス	3枚	マスタード	小さじ1/4
モッツァレラチーズ	60g～90g	ホワイトこしょう	少々

●作り方

- スナップエンドウは筋をとりゆで、縦にわる。
- レタスは大きめに手でちぎる。
- アボカドは半分に切りスプーンでくいだし、色が変わらないようレモン汁をかける。
- ①②③にモッツァレラチーズを混ぜる。
- ⑤調味料を合わせてドレッシングを作り食べる直前にかける。

表紙紹介

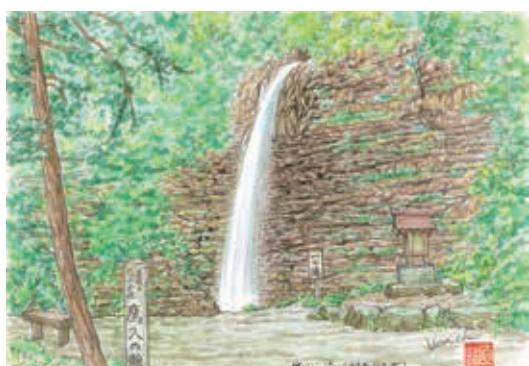
表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は安来市伯太町の「鷹入の滝」です。

鳥取県との県境の鷹入山中腹にある三段の滝で「平成の名水百選」「秘境地としてすばらしい名水部門全国第2位」(環境省)に選定されています。本滝の高さは10m、木々に被われた岩壁を一筋の水が流れ落ち、滝の横には滝の女神を奉ずる祠があります。

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。



編集後記

本誌でご紹介したミョウガをはじめ、子どもの頃はいわゆる薬味が苦手でしたが、年をとるごとにその香りや料理との組み合わせの妙に魅了されるようになりました。調べると薬味は刺激が強いものが多く、食べ過ぎると胃腸を荒らすことがあるため、子供は本能的に避けることがあるそうです。私もようやく一人前の大人になりました。(和)